

# サイバーシニアーズは、シニアのIT利用を推進する世界的なプログラムです。

2018年6月12日

## CSカレッジ2018 現在進行中

4月23日(土曜日) 5月19日(土曜日) 船橋市男女共同参画センターでCSカレッジが開催されました。4月 CSカレッジ ワークショップ#1 (スマホ使用時の安全性) スマートフォンは、電話以外の機能が沢山あります。コミュニケーションを広げる道具を安全に使用するにあたり、パスワードの付け方やメールを拒否する方法を学びました。

5月 CSカレッジ ワークショップ#2 (トラブルシューティング) ではインフラ (基盤) の学習を行い 携帯電話会社のデータ通信を理解しました。またインターネットプロバイダやWiFi(ワイファイ) ルーター及びWiFi(ワイファイ) スポットについて解説しました。6月23日は(男女共同参画センターフェスティバルで「シニアにとってSNSとは」を講演予定です。



## ワークショップボランティア募集

サイバーシニアーズはサイバーシニアーズカレッジ (CSカレッジ) で学生ボランティアの皆さんを募集します。高校や大学生の皆さんからシニアにスマートフォンの特徴や使い方をサポートするワークショップに参加していただきます。サイバーシニアーズのスタッフはワークショップを運用し学生の皆さんはアシスタントとしてシニアに操作のお手伝いをお願いします。

・ ボランティア体験の流れ

① マッチング会 (6/30 船橋中央公民館で希望する団体・施設等に申し込んでください。

14時30分~16時 (13時40分受付開始) 受付場所6階講堂前ロビー

② 体験申込みができれば、男女共同参画センターで各指定日にボランティア体験をしてください。

- ・ 7/21はスマホで作るLINEアカウントの設定やグループ・コミュニケーション
- ・ 8/18のワークショップ内容は電子新聞購読などのアプリ操作になります。
- ・ 8/25はFacebookページに「いいね」を投稿しシェアをする実技を行います。

<http://www.cyberseniors.jp/pg260270.html> でボランティアに登録しよう。

## 安全にオンラインで利用するために

サイバーシニアーズ創設メンバーのカシャ・カサデイからお願いがあります。パソコンで作業が完了したらログアウトするのを忘れないでください。ログアウトしないと個人情報盗まれる可能性があります。

ソフトウェアは最新に更新しておいてください。ソフトウェア更新プログラムが利用可能である旨の通知を受け取ったら、すぐに更新プログラムをインストールします。



この時データをバックアップしてください。ほとんどの人は自分のコンピュータに保存します。

写真や音楽や文書や友人や家族の連絡先です。このため、コピーが安全に保存されていることを確認してデータの損失を防ぐことが重要です。

一部の電子メールやSNSでは、2段階のログイン処理のオプションが用意されています。

たとえば、指紋スキャンが必要な場合やセキュリティ質問に回答する場合があります。 Webサイトに

にセキュリティレベルを追加できる場合は、オプション選択をお勧めします。携帯電話が紛失や盗難された場合は、その場所を特定し他の人が利用するのを防ぎます。紛失モードではiOSデバイス、Apple Watch、Macがロックされ、個人情報に他人がアクセスできないようになります。オンラインショッピングでも気をつけましょう。オンラインで購入する際に要求される情報に警戒してください。相手先に不必要な情報を提供しないでください。クレジットカードは、オンラインショッピングで一般に安全と考えられていますが、購入前にサイトのアドレスの前に「https://」があるかを確認してください。これで情報保護の追加対策が取られている事が分かります。

<https://my.cyberseniors.org/mentor-training> より

## インターネットの歴史

### 1969-1999.

2018/06/11

今でこそ、インターネットの名前は市民権を得て誰でも普通に使う時代になり、加速度的に増殖しています。2018年までには無線のネットワークの契約者数は45億、つまり世界総人口の60%



がインターネットに接続されると予測されています。

インターネットでは情報はパケットというデータ単位で通信ネットワークを流れ転送されます。インターネットでやり取りされるデータ量は膨大でデータ単位に分解して送受信することで、1本の回線や伝送路を複数の通信主体で共有して効率よく利用できます。つまりコンピューター同士を繋いで複数のコンピューターで仕事を分担することが可能になるのです。バラバラにされたパケットは到着地で再度、元データに組み直される。この仕組みをパケット通信と読んでいます。

1969年当時、米国国防総省は資金を援助してARPANET（アルパネット）を開発しました。これが世界で初めて運用されたパケット通信のためのコンピュータネットワークであり、インターネットの起源になりました。当初、UCLA, Stanford, UC Barbara, Uta Univ., MIT, Harvard, NASA が ARPAネットワークで繋がれて実験されました。

1980年、ティム・ジョン・バーナーズ＝リーが、複数のコンピューターに蓄積された情報をすべて連結したらと考えグローバルな情報空間、WWW(World Wide Web ワールドワイドウェブ)を考案しました。WWWに情報を集約させることができれば、世界中で接続されるコンピューターの情報を誰でも引き出すサイバー空間を作ることができます。1989年にはWWWでやり取りする規約が定義され標準化されました。クロームやサファリなどのブラウザからURL（ユーアールエル）で表示されるインターネット上の住所にアクセスすると、誰でもこのサイバー空間にアクセスすることができます。まさにコンピューター間の壁が崩れた瞬間でこの年はベルリンの壁が崩壊した年で冷戦が終結した年です。コンピュータの世界でも新時代が始まることになりました。

全米を複数のコンピューターで接続し通信方法（プロトコル）が実装されてからARPANET（アルパネット）はインターネット（internet）と呼ばれるようになり、接続されたコンピュータ数は1985年の2,000台から1987年の3万台、1989年の15万9000台と指数関数的に増大します。1994年には380万台から1997年の1,960万台に増加、わずか8年間で150倍に増加しました。現在は1億台を超えるコンピューターが接続されています。（続く）

### **WWW(World Wide Web)**

WWWはWorld Wide Web ワールドワイドウェブの頭文字で、文字・画像などをレイアウトして見せ、簡単にアクセスできるようにするための仕組みです。正確にはワールドワイドウェブですが、英語圏では一般的に「ウェブ」もしくは「ウェブサイト」と略されています。。ホームページとは、ウェブサイトの入り口にあたるページのことです。現在ウェブサイトの数は全世界で約12.7億のサイトがあります。

### **URL (Uniform Resource Locator)**

“URL（ユーアールエル）”とはインターネット上のホームページの場所を知らせる住所のようなものです。ホームページにもこの"URL"があって、ホームページを閲覧するブラウザ（インターネットエクスプローラー）の上部で確認できます。

## 日曜のお昼は ばあちゃん家でランチしよう！ 孤独なお年寄りと若者をSNSでつなぐ「Sunday Grannies」

世界規模で進行する高齢化社会。東ヨーロッパに位置するルーマニアでも、高齢化に伴うさまざまな現象が表面化してきています。なかでも大きく取り上げられているのが『ひとり暮らしのお年寄りをどうやってケアしていくか』という問題。

調査によると、ルーマニアでは75歳以上の高齢者のうちおよそ4割がひとり暮らしをし



ているようで、お年寄りを社会から孤立させないための対策が課題となっています。そんな状況の中、高齢者の孤独を防ぐシステム作りを目指して動き出したのが、世界最大級の携帯電話事業会社ボーダーフォン。

二人の女性の協力のもと、「Sunday Grannies 日曜日のおばあちゃん」と名付けた実験的試みを行いました

た。それぞれ夫を亡くし、互いに一人暮らしをしていたことから、一緒に住み始めたという二人。家族のために料理をするのが喜びだったという共通点に着目したボーダーフォンは、SNSを通じて市内に住む独り暮らしの学生たちに、日曜日の午後、二人の家に昼食を食べにくるよう呼びかけたのです。彼女たちがFacebookページにメニューの内容を投稿すると、学生たちから次々とランチ会に参加する旨の書き込みが寄せられ、週末になると小さなアパートに多くの若者が集うようになりました。

### サイバーシニアーズ・ニュースレター4号をお届けします。

サイバーシニアーズ・ニュースレター4号はWebサイト及びSNSサイト、ニュースレターの定期配信により北米や欧州での活動内容や日本での状況を紹介します。サイバーシニアーズ・キャンペーンは学生によるボランティア活動が主体で、シニアにスマホやPCやタブレットの操作支援をワークショップというスタイルで実施します。サイバーシニアーズ・ジャパンは各地域の市民団体に対してこのキャンペーンの導入支援を行っています。